

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成10年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第69巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.69 no.5

物性研究

1998 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集部より

1998年度「物性研究」会費納入について

1998年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 70 No.1-6 (1998年4月号～1998年9月号)

Vol. 71 No.1-6 (1998年10月号～1999年3月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、1998年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額9,600円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は1998年3月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、1997年度 (Vol.69 No.6まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

1997年度の購読料が未納の方は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail. busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

* 1998年2月より、郵便番号が7けたになりました。こちらからお送りした宛名ラベルの新郵便番号が間違っている場合は、ご連絡ください。

編集後記

最近の学部生の英語力の低下は、どこの大学でも取り沙汰されている問題だと思う。例えば、学部生の卒業研究の一環として文献の輪読を担当していて、本題の物理の議論以前に英文読解の相手をするはめになることは、ここ数年しばしばである。この類いの現象は、学部卒業後に就職予定となって物理への専門的興味を失った学生に特有でやむを得ないことかと最近まで思っていたが、どうも違うようだ。最近知ったことだが、ここ数年入学してくる大学院生の中にも英語が苦手で、物理の専門書のうち和文で書かれたものだけを選んで読む学生がいる。これでは、読む必要のある原論文や洋書をさえ読もうとしない学生がふえるのも当然である。これが原因で大学院入学後に研究意欲を失っていく学生に対して、いったい我々に何ができるというのか（ご承知のように本誌「物性研究」は以前から和文掲載を尊重しているが、もちろんまともに研究したことがない学生の便宜をはかってのことではない。そもそも、次元の全く違う話である）。1, 2年ほど前から、教養部改組のあおりで講師のこま不足などが理由で、一般教育科目としての語学授業数が激減していることがしばしば問題視されている。しかし、上記の卒業予定の学部生の語学力などはどう考えても高校生のそれより落ち込んでいる場合がしばしばで、（うまくいっていない）大学改革だけが原因でこうもひどくなるとは考えられない。

もちろんこれも社会の様々なゆがみの一つに過ぎないわけで、ここでその原因を追求しても議論が発散するだけだ。重要なのは、こういう社会問題に大学が「どう貢献できるか」という点だ。科学技術基本法の制定で基礎研究の重視が期待できるだとか、大学院重点化で研究費が増額されたとか言って研究が活性化されても、若手研究者が自立しなければいずれまた基礎研究に対する世間の目は冷たくなるであろう。上記の語学力の話などは、国内特有の問題である。大学教官の任期制などは、こういう国内の問題に目を向けずに国外での例を手本にしようとする見当違いの改革のひとつであろう。間違った方向に進んでいるとしか思えない現行の改革に妥協して、「どう貢献できるか」などと考えてもすぐに答えが出そうにない。

(I. R.)

物 性 研 究 第69巻第5号 (平成10年2月号) 1998年2月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

編集後記

最近の学部生の英語力の低下は、どこの大学でも取り沙汰されている問題だと思う。例えば、学部生の卒業研究の一環として文献の輪読を担当していて、本題の物理の議論以前に英文読解の相手をするはめになることは、ここ数年しばしばである。この類いの現象は、学部卒業後に就職予定となって物理への専門的興味を失った学生に特有でやむを得ないことかと最近まで思っていたが、どうも違うようだ。最近知ったことだが、ここ数年入学してくる大学院生の中にも英語が苦手で、物理の専門書のうち和文で書かれたものだけを選んで読む学生がいる。これでは、読む必要のある原論文や洋書をさえ読もうとしない学生がふえるのも当然である。これが原因で大学院入学後に研究意欲を失っていく学生に対して、いったい我々に何ができるというのか（ご承知のように本誌「物性研究」は以前から和文掲載を尊重しているが、もちろんまともに研究したことがない学生の便宜をはかってのことではない。そもそも、次元の全く違う話である）。1, 2年ほど前から、教養部改組のあおりで講師のこま不足などが理由で、一般教育科目としての語学授業数が激減していることがしばしば問題視されている。しかし、上記の卒業予定の学部生の語学力などはどう考えても高校生のそれより落ち込んでいる場合がしばしばで、（うまくいっていない）大学改革だけが原因でこうもひどくなるとは考えられない。

もちろんこれも社会の様々なゆがみの一つに過ぎないわけで、ここでその原因を追求しても議論が発散するだけだ。重要なのは、こういう社会問題に大学が「どう貢献できるか」という点だ。科学技術基本法の制定で基礎研究の重視が期待できるだとか、大学院重点化で研究費が増額されたとか言って研究が活性化されても、若手研究者が自立しなければいずれまた基礎研究に対する世間の目は冷たくなるであろう。上記の語学力の話などは、国内特有の問題である。大学教官の任期制などは、こういう国内の問題に目を向けずに国外での例を手本にしようとする見当違いの改革のひとつであろう。間違った方向に進んでいるとしか思えない現行の改革に妥協して、「どう貢献できるか」などと考えてもすぐに答えが出そうにない。

(I. R.)

物 性 研 究 第69巻第5号 (平成10年2月号) 1998年2月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 69-5 (2月号) 目次

- ナノ粒子における自発的合金化と相平衡
.....保田 英洋、森 博太郎..... 681

- DMRG 学習にお勧めの文献.....西野 友年..... 697

- $S = 1/2$ Heisenberg 梯子模型の密度行列繰り込み群による研究
.....成島 毅..... 702

- 研究会報告
「Theoretical Natural History を目指して」.....大野 克嗣..... 742

- 修士論文 (1996年度)
ドリフト・ロスビー波乱流における渦格子の形成過程に関する研究
.....渡邊 威..... 748

- 編集部より
1998年度「物性研究」会費納入について..... 775

- 編集後記..... 776

物性研究 69-5 (2月号) 目次

- ナノ粒子における自発的合金化と相平衡
.....保田 英洋、森 博太郎..... 681

- DMRG 学習にお勧めの文献.....西野 友年..... 697

- $S = 1/2$ Heisenberg 梯子模型の密度行列繰り込み群による研究
.....成島 毅..... 702

- 研究会報告
「Theoretical Natural History を目指して」.....大野 克嗣..... 742

- 修士論文 (1996年度)
ドリフト・ロスビー波乱流における渦格子の形成過程に関する研究
.....渡邊 威..... 748

- 編集部より
1998年度「物性研究」会費納入について..... 775

- 編集後記..... 776